



平成 26 年 10 月 27 日

各 位

会社名 DMG 森精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 雅彦
(コード： 6141、東証 第 1 部)
問合せ先 代表取締役副社長兼経理財務本部長 近藤 達生
(TEL 052-587-1811)

旋盤事業の事業譲受けに関するお知らせ

DMG 森精機株式会社(以下「DMG 森精機」)は、株式会社アマダ(以下「アマダ」)の 100%子会社である株式会社アマダマシンツールの一部である旋盤事業について、平成 27 年 4 月 1 日に譲り受けることを本日の取締役会で決定いたしました。譲り受け価格については今後交渉の上決定し、決定次第速やかに報告いたします。

記

1. 本事業譲受けの目的

DMG 森精機は、工作機械事業に特化し、グローバル規模でお客様の要望に応え得る広範な製品群を擁しておりますが、アマダの生産・販売している小型旋盤事業を譲り受けることでさらに製品の品揃えが充実できるものと考えております。

アマダの旋盤事業は、1937 年に鷲野興業株式会社(1960 年にワシノ機械株式会社に社名変更)が旋盤の製造販売事業を創業したことに始まり、1978 年に業務提携によりアマダグループに加わりました。現在は、株式会社アマダマシンツールの工作機械事業の旋盤部門として事業展開しております。数々の新製品を開発し、高精度小型旋盤としてお客様から高い評価を得ております。当社のグローバルでの強固な販売体制、迅速なサービス提供力が加わることで、よりお客様の満足度を高め、企業価値向上を図ることができるものと確信しております。

当社は、今後 DMG 森精機ワシノ株式会社を設立し、小型旋盤事業の専門会社としてワシノブランドを継承して参ります。小型旋盤は、当社の奈良事業所での生産を計画しておりますが、現有設備で対応可能であり資産効率の向上を図ります。また、小型旋盤の開発、生産、販売、エンジニアリング、サービスでの優秀な人員を 100 人強採用し、お客様のより一層の満足向上に努めて参ります。

2. 事業譲受け対象

DMG 森精機は、株式会社アマダマシンツールの旋盤事業に関する、営業権、知財、商品・サービスパーツなどの経営資源の譲り受ける他、事業継続に必要な人員を株式会社アマダマシンツールの従業員の内から新規に採用する予定です。譲受けの対象(事業部門の経営成績、資産・負債の項目及び金額、会計処理の概要等の詳細)が明確になり次第、速やかに報告いたします。

3. 譲受けの日程

- (1) 取締役会決議日 2014年10月27日
- (2) 契約締結日 2015年2~3月頃(予定)
- (3) 事業譲渡期日 2015年4月1日(予定)

※本事業譲渡は会社法第467条第1項第2号に定める簡易事業譲渡に該当するため、両当事者とも株主総会決議を経ずに行います。

4. 相手先及び相手先親会社の概要

(1) 相手先

- ① 名 称 株式会社アマダマシンツール
- ② 所 在 地 神奈川県伊勢原市
- ③ 事 業 内 容 金属工作機械器具等の製造、販売等
- ④ 純 資 産 16,699百万円
- ⑤ 総 資 産 29,712百万円
- ⑥ 大株主及び持分比率 株式会社アマダ 100%
- ⑦ 上 場 会 社 と
当 該 会 社 の 関 係 資本関係 株式会社アマダ 持分比率 100%
人的関係 株式会社アマダ 役員兼務 4名
取引関係 株式会社アマダ 商品及び部品の販売
関連当事者へ
の該当状況 ございません

(2) 相手先親会社

- ① 名 称 株式会社アマダ
- ② 所 在 地 神奈川県伊勢原市石田 200 番地
- ③ 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 岡本 満夫
- ④ 事 業 内 容 金属加工機械、器具の製造、販売、賃貸、修理、保守、点検、検査等
- ⑤ 資 本 金 54,768百万円
- ⑥ 設 立 年 月 日 1948年5月1日
- ⑦ 純 資 産 417,002百万円
- ⑧ 総 資 産 552,729百万円
- ⑨ 大株主及び持分比率 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 10.85%
- ⑩ 上 場 会 社 と
当 該 会 社 の 関 係 資本関係 ございません
人的関係 ございません
取引関係 当社製品の販売及びアマダ製品の購入
関連当事者へ
の該当状況 ございません

5. 業績への影響

今期連結業績の見通しに与える影響はございません。